



懸かけはじ橋

ぎかいだより

2017.4.26 No.45



CONTENTS

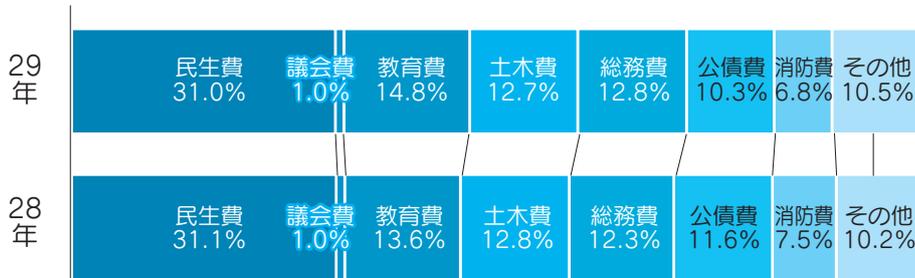
プール整備事業費へ4億681万円……………	P 2
町政を問う（一般質問：4人）……………	P 9
選挙公報発行を協議……………	P 14
平成29年度町道整備は9路線を予定……………	P 15

消防車の放水を体験する子どもたち

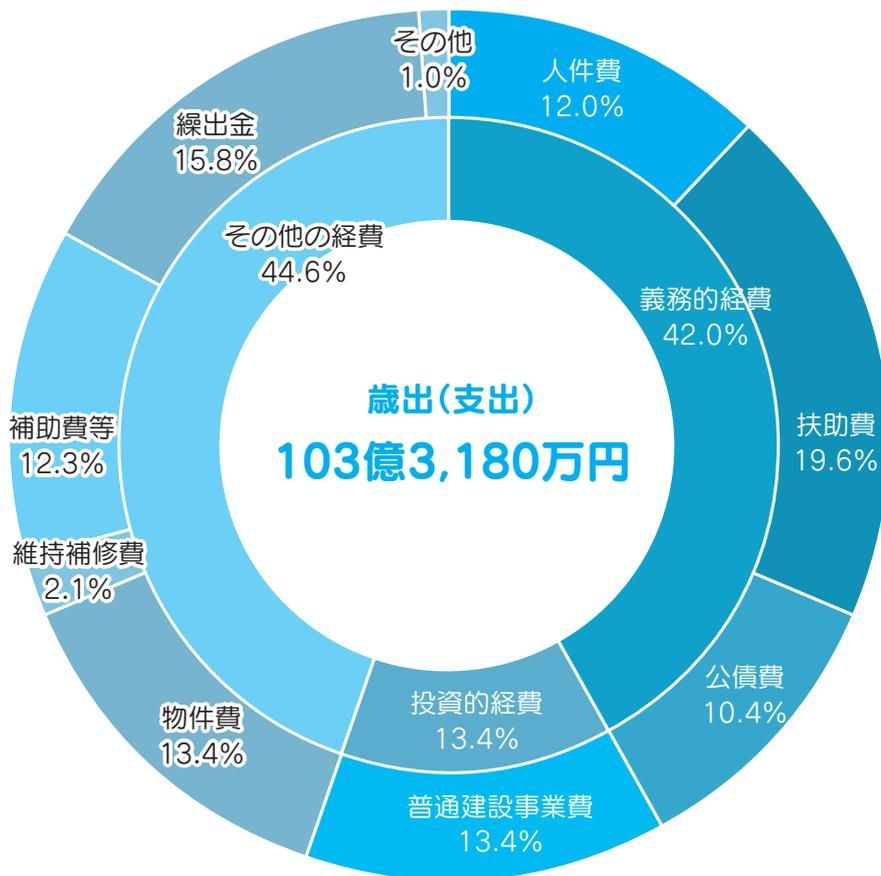


4億681万円

整備検討業務委託料へ864万円



一般会計 歳出予算構成グラフ(目的別)



一般会計 歳出予算構成グラフ

ポイント 前年対比

- ・扶助費 7,586万円減少
- ・公債費(借金の返済)1億9,346万円減少
- ・投資的経費1億7,487万円減少
- ・物件費5,334万円増加
- ・繰出金9,510万円増加

平成29年第1回定例会は、3月2日から9日までの8日間の会期で開かれました。この定例会には、平成28年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算、平成29年度一般会計及び特別会計当初予算など、報告2件、諮問1件、議案34件が上程され、審議の結果、いずれも原案のとおり承認、可決しました。

一般質問には、4人の議員が登壇し、全員が一問一答方式により町当局の考えを質しました。

扶助費: 児童手当や乳児・高齢者・重度心身障がい者の医療費に使う経費
投資的経費: 道路や公園、学校などの施設の建設費、大規模修繕費といった町の資産の形成につながる経費
物件費: 人件費に計上されない賃金、旅費、交際費、消耗品や備品購入費、委託料などの消費的性質の経費

29年度
予算

プール整備事業費へ

多目的ドーム整備事業

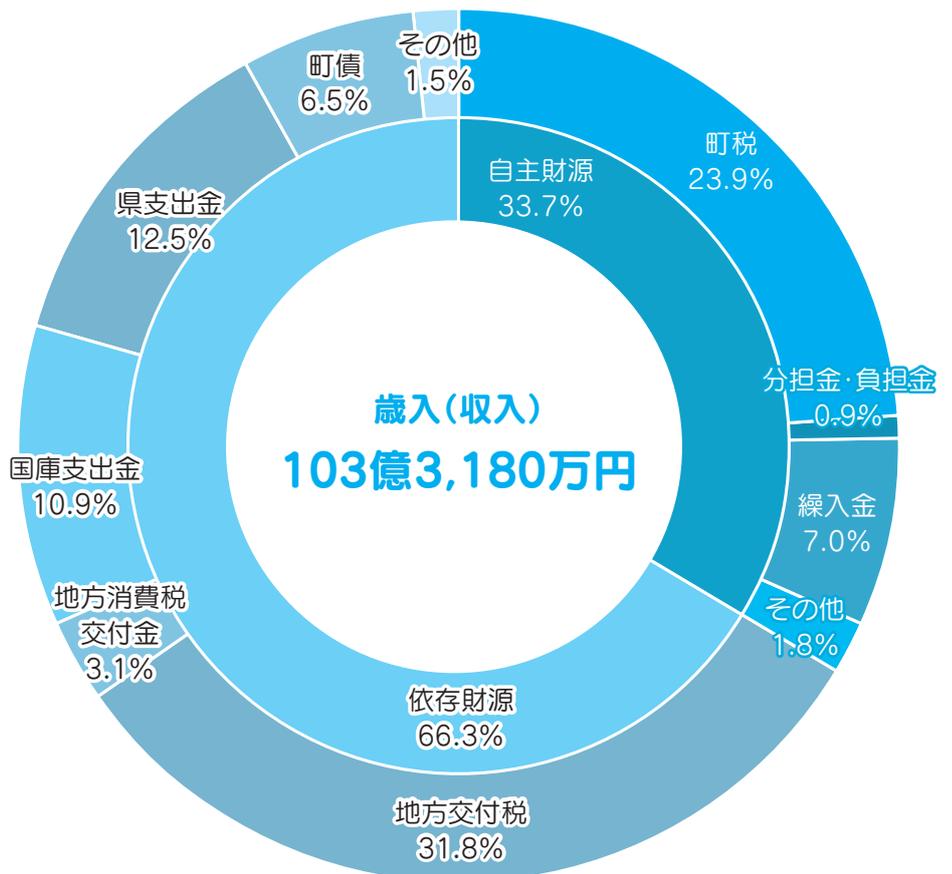


プール施設完成予想図（農村環境改善センター北側に建設予定）

特別会計の予算

国民健康保険特別会計	30億2,201万円(0.3%増)
奨学資金貸付事業特別会計	2,556万円(10.1%増)
公共下水道事業特別会計	11億952万円(2.8%減)
農業集落排水事業特別会計	1億3,045万円(3.1%減)
介護保険特別会計	23億858万円(2.8%増)
後期高齢者医療特別会計	1億6,983万円(6.5%増)
病院事業会計	10億3,348万円(0.5%減)

「公共用地取得事業特別会計」は、廃止となりました。



一般会計 歳入予算構成グラフ

ポイント 前年対比

- 町税 1億3,005万円増加
- 繰入金(貯金取り崩し)1億1,444万円増加
- 地方交付税9,334万円減少
- 国庫支出金2億1,839万円減少
- 地方債(借金)3億2,070万円減少

平成29年度町政運営の基本姿勢

「全力」、「連携と結集」をキーワードに

～平成29年度主要施策～

基本方針1 『住民と議会・行政がともに考え、行動するまち』

住民自治組織・地域づくり協議会への活動支援／ハートピア助成制度事業の継続実施

基本方針2 『自然と利便性が調和するまち』

都市計画マスタープランの策定／町農業振興地域整備計画の見直しなど

基本方針3 『心豊かな人育てと伝統・文化が香るまち』

百石高等学校への教育支援（高校生レストラン、全国高校生 SBP 交流フェア）／「おいらせの学びカレッジ」内容充実／多目的ドーム基本構想案・基本計画案の検討など

基本方針4 『快適で安心して暮らすことができるまち』

百石地区防災行政無線デジタル化／町道整備事業・道路維持管理事業／下水道施設長寿命化対策／地域の元気再生定住促進事業の見直しなど

基本方針5 『みんなが互いに助け合うまち』

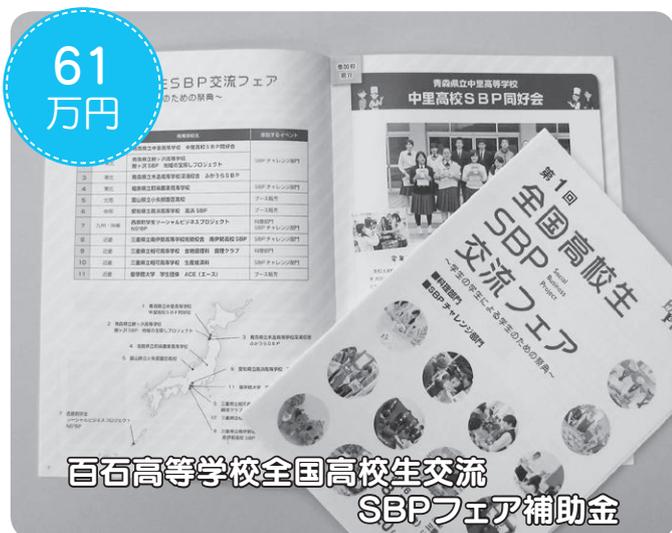
健活ポイント事業／児童館・放課後児童クラブ開設時間の延長／第7期介護保険事業計画策定など

基本方針6 『活力を創出し住み続けることができるまち』

工場誘致奨励条例改正／商店街活性化イベント補助事業／前田堤ため池廃止事業／百石漁港施設機能強化・機能保全事業など

基本方針7 『住民主体の「まちづくり」を支える基盤づくり』

「おいらせ町公共施設等総合管理計画」個別施設計画の策定／人事制度の充実強化など



百石高等学校全国高校生交流
SBPフェア補助金

全国の高校生が集まり、「食」「生」「職」をキーワードに
取り組みの発表を行う交流事業に参加する百石高校生に対
し参加費用の一部を助成します。

平成 29 年度の主な事業

- ・町総合計画策定事業 499 万円
- ・地域おこし協力隊事業 284 万円
- ・おいらくん誕生 10 周年記念事業 29 万円
- ・同窓会交流促進支援事業補助金 50 万円
- ・救急医療情報キット配布事業 165 万円
- ・農業振興地域整備計画書修正業務委託料 166 万円
- ・下田第 8 分団消防ポンプ自動車購入費 2,500 万円
- ・小学校屋外環境整備事業 7,000 万円
- ・小中学校トイレ改修工事実施設計委託料 1,500 万円
- ・百石中学校講堂建築造成工事費 3,500 万円
- ・いちよう公園体育館駐車場舗装工事費 960 万円

予算特別委員会 — 主な質疑 —

平成29年度一般会計及び各特別会計・病院事業会計予算案は、議長を含む全議員をもって構成された予算特別委員会（委員長・橋山忠議員）で審査しました。町政全般にわたり、数多くの質疑がありました。紙面では質疑の一部を紹介します。



予算特別委員会の議事を進行する橋山忠委員長

滞納額の解消のために徴収率を高めよ

問 平成27年度決算によると町税の収入未済額が2億2千万もある。人件費を投入して、徴収率を高める考えはないか。

答 全体的な人事の問題になるので、総務課と協議したい。

同窓会補助金の対象に疑問あり

問 同窓会交流促進支援事業補助金の対象は、

答 町内の小・中学校、高校の同窓会（20歳以上40歳以下）を対象とし、

地域おこし協力隊 その役割は

問 地域おこし協力隊の具体的な説明を求めます。

答 企画財政課に配置して、移住・定住を促やすため、移住コーディネートや相談、パンフレットの作成、移住体験ツアー等お願いしたい。

地域を担う若者が親睦と情報交換を行いながらの郷土愛の醸成、定住人口の増加、地元商店街の活用による地域経済の活性化への寄与を目的としている。

問 町外の高校に進学した町民を対象としないのは町民の理解を得られないのではないか。

答 あくまでも町内の小・中学校、高校を対象としたい。

議会への提言書 提出されると聞いたが

問 自治推進委員会から提出される提言書には経費が必要な内容もあるが、合併後、議員32人を16人に半減し、議会費が町予算の1%程度を維持している成果を町民にお知らせしてほしい。

答 議会の取り組みには効果が上がっていると思う。自治推進委員会にも説明したい。

耕作放棄地解消 町の施策は

問 荒廃農地等利活用促進補助金の内容は、

答 耕作放棄地となつている農地を解消するために土壌改良や営農転換の支援を行う。

東日本大震災 復旧は完了したのか

問 広報おいらせ1月号に掲載された議長の新年のあいさつの中に「津波被害からいち早く復旧を完了」という文言があるが、町長も同じ認識か。

答 不十分かもしれないが、町としては議会とともに、できるだけのことばやってきたという認識である。

多目的ドーム整備 今年度は検討に着手

問 多目的ドーム整備検討業務委託料の内容は、

答 施設の規模、内容、方向性等について、アドバイスを受けるために業者に入ってもらつという内容になっている。

問 建設のスケジュールはどうなっている。

答 29年度は基本構想までとなるが、途中で議員にも報告したい。具体的に何年度着工とまでは言えないが、一歩でも近づけるように進めていきたい。



4413万円

百石第9分団拠点施設建替事業

老朽化の著しい百石第9分団（根岸）屯所の移転新築工事を実施します。



2949万円

下田公園湿地帯木道改修工事費

平成28年度に続き、下田公園湿地帯木道（約280m）の改修工事を行います（平成29年度完了予定）。

補正予算

公共施設整備基金積立金増額のほか、

事業完了による事業費の減額を実施

平成28年度一般会計補正予算（第5号専決）主な内容

【主な財源（歳入）】

●財政調整基金の取り崩し 3,500万円

【主な事業（歳出）】

●除雪対策費 3,500万円

平成28年度一般会計補正予算（第6号）主な内容

【主な財源（歳入）】

●町税（町民税・固定資産税）..... 2,805万円

●財政調整基金の取り崩し ▲5,507万円

●町債 ▲1億3,180万円

【主な事業（歳出）】

●公共施設整備基金積立金 5,000万円

●子どものための教育・保育給付費 955万円

●町道舗装補修工事費 ▲2,057万円

◆一般会計補正予算（第5号）

既定予算の総額に3500万円を追加、予算総額を122億7022万円とし、2月1日付けで専決処分したことについて報告があり、承認を求められました。
歳出の内容は除雪対策費の増額です。

◆一般会計補正予算（第6号）

既定予算の総額から1億4373万円を減額し、予算総額を121億2649万円としました。
歳出の内容は公共施設整備基金積立金の追加のほか、事業の完了などによる減額です。

特別会計

◆国民健康保険特別会計補正予算（第4号）

既定予算の総額から215万円を減額し、予算総額を30億1813万円としました。
歳出の内容は、保険給

◆授学資金貸付事業特別会計（第2号）

既定予算の総額に9万円を追加し、予算総額を2261万円としました。
歳出の内容は、貸付金の減額と積立金の増額です。

◆公共下水道事業特別会計（第4号）

既定予算の総額から2717万円を減額し、予算総額を11億3545万円としました。
歳出の主な内容は、下水道整備工事費の減額です。

◆農業集落排水事業特別会計（第3号）

既定予算の総額から95万円を減額し、予算総額を1億3649万円としました。
歳出の主な内容は、農業集落水施設更新工事費の減額です。

◆介護保険特別会計（第3号）

既定予算の総額から9956万円を減額し、予算総額を22億3191万円としました。
歳出の主な内容は、保険給付費の減額と基金積立金の増額です。

◆後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

既定予算の総額に784万円を増額し、予算総額を1億6866万円としました。
歳出の内容は、後期高齢者医療広域連合納付金の増額です。

◆病院事業会計補正予算（第2号）

収益的収入及び支出の既定予定額から2466万円を減額し、予算総額を9億6043万円とするほか、資本的支出の既定予定額から499万円を減額し、予算総額を7547万円としました。

人事案件

◆人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて

1人の委員の任期満了に伴い、十和田市内の小学校や六戸町立開知小学校の校長を務めた経歴を持つ和田貴美子氏を新たに候補者として推薦する提案がありました。

議会では全会一致により両氏の推薦を適任としました。

任期は平成29年7月1日から平成32年6月30日までとなります。



和田 貴美子氏（木ノ下）

町企業誘致推進に向け

優遇措置対象要件を緩和

— 議案第11号 —

町への企業誘致推進を目的とした「町工場誘致奨励条例」が他市町村と比較すると条件が厳しく、平成18年3月1日以降、適用事例が1件もなかったため、見直すものです。

	改正前	改正後
業種	<ul style="list-style-type: none"> 情報通信業、学術研究・専門サービス業の一部 宿泊業の規定なし 	情報通信業、学術研究・専門サービス業の全部と宿泊業を追加するほか、他市町村で規定し、町では規定していない業種も追加
常時雇用人数	30人以上	10人以上
投下固定資産	1億5,000万円以上	3,000万円以上
工場立地奨励金	納付固定資産税の 1年目 全額 2年目 8割 3年目 6割	<ul style="list-style-type: none"> 操業奨励金 納付固定資産税の5力年全額 工場立地奨励金：新規 用地取得額の50% (上限5,000万円)
雇用促進奨励金	町民の雇用が30人を超えた場合一人につき11万円交付	町民の雇用が10人を超えた場合一人につき20万円交付

【質疑】

問 緩和後の誘致奨励企業の内容は町が働きかけをするほどの規模か。

答 企業に来てほしいという思いで他市町村と同じ条件にした。

問 町内既存の誘致企業が増設するときも対象としているが、条例の趣旨にあっているのか。

答 立地している誘致企業がさらに増設する場合に増設部分も対象とするもの。

問 町として誘致するという思いがあるのなら、工業団地を造るべきではないか。

答 相当な時間と経費がかかることから、しっかりとした計画が必要。

問 この条例を改正すると町に企業が来るという見通しはあるのか。

答 問い合わせはあったが、具体的な話にはなっていない。

問 町に企業が来たいといっても場所がないのではないか。

答 紹介できる工場跡地が4カ所ある。

問 用地がないのに来てくれというのは感覚がずれている。土地規制が厳しいのはわかるが時間がかかり過ぎる。条件を緩和しても来る場所がないとどうにもならないではないか。

答 跡地4カ所を優先的に紹介するということを考えている。

問 今できることは、ソフト的なものとして条例を改正することであり、今後立案される計画のもとで工業団地というハード面を検討したい。

【結果】
原案どおり可決

その他の報告・審議案件

◆ 対物事故に係る損害賠償の額の決定

◆ 町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

おいらせ阿光坊古墳館条例の施行に伴い行政職分類表に「館長補佐」を追加します。

◆ 町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償額に関する条例の一部改正

農業委員会会長及び委員、農地利用最適化推進委員の規定の改正と地域おこし協力隊の規定の追加を行います。

◆ 町執行機関の附属機関の設置等に関する条例の一部改正

4 附属機関の新設と2 附属機関の名称変更及び委員の構成の見直しを行います。

◆ 町個人情報保護条例等の一部改正

◆ 町個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正

個人情報保護法及びマイナンバー法の改正に伴い所要の改正を行いません。

◆ 町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

◆ 町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

児童福祉法の改正に伴い、所要の改正を行いません。

◆ 町特別会計条例の一部改正

公共用地取得事業特別会計を廃止します。

◆ 町町税条例の一部改正

消費税率引き上げが延期されたことに伴い、平成28年度における地方税制改正措置の一部が同様に延期されたため、所要の改正を行います。

防災行政無線放送施設、一本化へ

— 議案第1号 防災行政無線放送施設改修工事請負契約の締結について —

平成29年第1回臨時会が1月16日に開かれ、報告2件、議案1件が上程されました。審議の結果、いずれも原案のとおり承認・可決しました。

デジタル方式で

全町域運用へ

百石地区全域で運用しているアナログ方式の防災行政無線を下田地区と同じデジタル方式に改修し、おいらせ町全体をデジタル方式とした運用に一元化するための施設改修工事の請負契約の締結を可決しました。

契約金額

1億1804万4千円

契約の相手方

浪岡電設有限公司



町全域の防災無線が1つの方式に統合されました。

【その他の報告】

◆町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正専決処分

◆町職員の育児休業等に関する条例の一部改正専決処分

条例2件の一部改正について、専決処分の承認を求める報告は、すべて承認しました。

第1回議員全員協議会

2月17日（金）、議員全員協議会が開催され、7つの案件について協議しました。

◆町執行機関の附属機関の設置等に関する条例の改正について

同条例に規定された構成委員の見直しや附属機関の新設、名称変更について説明。

◆平成29年度おいらせ町当初予算案の概要について

一般会計、特別会計等当初予算の概要について説明。

◆まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について

27年度に実施した事業の検証結果の報告と29年度に実施する新規事業について説明。

◆町地域福祉計画（案）について

地域に暮らす一人ひとりが積極的に地域づくりに関わっていくための指針として作成された計画（案）について報告。

◆町工場誘致奨励条例の見直しについて

町への企業誘致推進に向けて優遇措置対象要件を緩和することを説明。

◆町民プールの整備について

実施設計が完了したプール施設の計画について説明。

◆新公立病院改革プラン（案）について

28年度から32年度までの5年間を対象期間として、一般病床の地域包括ケア病床への転換、急性期病床から回復期病床への機能変更、病床数78床を60床へ削減といった改革プランの概要について説明。



持続可能な経営をめざし、おいらせ病院の新改革プランを策定

町政を問う

～ここが聞きたい 一般質問～

ページ	質問事項	質問議員
10	1. 町民の目線に立った情報サービスについて 2. 人工芝グラウンド建設について 3. 町長就任4年目を迎えて	平野 敏彦
11	1. 副町長について 2. 高齢者の自動車免許証返納について 3. ヘルプマークとヘルプカードについて 4. 出生率向上について 5. 昨年の台風10号による被害について 6. 町道間木百石1号線について	橋山 忠
12	1. 当町の防火対策について問う 2. 当町の昨年夏の台風、長雨等の農作物被害について問う 3. 水田基盤整備事業について問う	田中正一
13	1. ふるさと納税について 2. 公共施設へのWi-Fi環境の整備について	西館 芳信

※「一般質問」は、行財政全般にわたる議員主導による政策論議です。年4回の定例会で行われます。

議員が、町の一般事務について、執行機関に対しその執行の状況及び将来の方針等について所信をただし、事実関係を明らかにすることにより、現行の政策を変更、是正させ、あるいは新規の政策を採用させるなどの目的効果があります。

※一問一答方式の場合、60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

「ぎかいだより懸橋」では、質問した議員が原稿を作成しており、スペースの都合上、質問と答弁を要約しています。

三村町政継続のため2期目の決意は

町長「残りの任期を公約実現のため 全力で取り組むことだけを考えている」



平野 敏彦 議員

町民からの要望事項 対応と内容の公表は

平野 町民や各種団体等の要望事項にはどう対応しているのか。

町長 町民の声については、庁舎と病院に設置している「町民の声」ポストに投稿する方法と、メールで投稿する方法があり、所管課から投稿者へ回答している。

陳情・要望については、内容確認後、町長の指示を受け、所管課で対応している。

平野 町民からの要望事項等は、「どこまでできたか 町民要望」として、広報に公表すべきだ。

町長 町民の声及び町に対する団体からの陳情・要望、行政推進委員からの要望への回答については、件数が非常に多く、公表方法や広報掲載基準などについて、調査・研究していきたい。

おいらせ町に人工芝グラウンド建設を

平野 町には3つのサッカースポーツ少年団、3中学校のサッカー部、百石高校の男子と女子のサッカー部がある。

また、おいらせFCが昨年県一部リーグで優勝し、東北リーグ北地区に参戦するほか、岩手県・秋田県からのチームを迎えてのホーム戦もあり、当町にも人工芝グラウンドが必要との声がある。

町長の考えは。
町長 施設を充実し、環境を整えたいが、現状では多目的ドーム整備の検討予定中でもあり、人工芝グラウンドの整備は難しい。



人工芝グラウンドは
定住促進に大きな効果

平野 八戸市市川地区のダイハツスタジアムは、全国からサポーターが駆けつけて、観客数も増加中である。人工芝グラウンド建設により、人口定住促進にも大きな効果を発揮する。

町予算案の2パーセントあれば、十和田市若葉球技場規模の整備が可能。

町長の考えは。
町長 スポーツ施設の整備については、非常に重要であると前向きにとらえている。人口芝グラウンドのデータを集めているので、多目的ドームに力を入れながらも、並行して調査をしながら前向きに考えたい。

町長就任4年目、公約の達成状況は

平野 三村町長が就任して4年目を迎えた。副町長不在のまま1年が経過したが、現在の状況をどのように捉えているのか。

町長 就任から3年間、総合的かつ戦略的な人口減少の抑止と定住促進など、「おいらせ町創生」に向けた取り組みに着手しながらも、政策公約「笑顔あふれる元気な町」の実現を目指し、職員一丸となって取り組んできた。初心を忘れることなく町民一人ひとりの笑顔があふれ、明るく元気に健やかに暮らせる町を目指し、取り組んできた。

しかし、目標達成は、いまだ道半ば。平成29年度を集大成とすべく、原点に振り返り粉骨碎身の覚悟で取り組んでいく。

平野 公約実現について、任期最終年での達成状況は。

町長 私の公約は、7つの柱と具体的に取り組む項目57件を掲げて、これまで実現に向けて努めてきた。

今年度末見込みの進捗状況は、達成したものが50件、取り組みを進めているものが3件、検討段階が4件となっており、達成率は約87%となっている。

平野 三村町政継続のため2期目の決意は。

町長 実現した公約は100%には達していない。残りの任期を町民の幸せと町発展のため、全力で取り組むことのみを考えている。



榑山 忠 議員

副町長不在でも行政運営に支障はないか

町長「各課長にかかる負担は生じているが、縦横の連携で対応している」

副町長不在1年 その影響は

榑山 前副町長退任から1年経過し、副町長不在に対する町民の声がある。

町の対策は。

町長 各種会合への出席等については、極力、出席するよう努めているが、困難な場合は、教育長や所管課長に代理出席を依頼している。また、決裁は規程により総務課長が代決している。その他、町長、教育長、各課長で対応している。

榑山 町長任期もあと1年。副町長を選任する考えはないか。

町長 県内で最も大きい町の町長として頑張っているが、副町長がいないとやはり大変である。

現在も、副町長としてふさわしい人物を探しているのが、良い方があれば、議員皆様方にもお願い、選任したい。

高齢者の自動車運転 町の免許証返納対策は

榑山 高齢者の自動車運転事故が多発しているが、町内高齢者の運転免許証返納の意識調査を実施してはどうか。

また交通手段の確保も必要だがその対策は。

町長 運転免許は、青森県公安委員会の管轄であり、町では、どれだけ町内高齢者が免許を所持しているかは把握しておらず、調査は考えていない。

現在、青森県警察が、「運転免許自主返納者支援事業」に取り組んでおり、町では町内公共交通の要として町民バスを運行しているの、この支援事業とタイアップした取り組みを検討したい。

ヘルプマーク、 ヘルプカード 町の取り組みは

榑山 肢体不自由者、難病者等の介助希望表示のヘルプマーク、ヘルプカードについて、町内の利用者や活用者数、町民への告知方法は。

また県との連携はどうなっているのか。

町長 ヘルプカードについて、町では、広報11月号及び町ホームページで周知を行い、これまでに、10人に配布している。県には毎月、障害種別ごとの配布人数を報告しているが、今後も連絡を密にし、定期的にホームページ、広報などを通じて、ヘルプマークの普及啓発に取り組んでいく。

出生率向上のため 不妊治療に助成を

榑山 過去3年間の不妊相談件数は何件か。また、不妊治療に対する助成対策はあるのか。ない場合、助成制度を設ける考えはないか。

町長 相談窓口は保健所なので、町は相談件数の統計はとっていない。

不妊治療については、国の支援制度があり、県が窓口となっているが、町広報等でも知らせたい。国の支援を受けても自己負担が生じていると思われるので、今後、独自の助成制度により、その一部を支援することができないか、検討したい。

間木百石1号線 街路灯設置と除雪を

榑山 町道間木百石1号線は百石高校生、下田中学生の通学路にもなっている。

生徒の安心・安全のため、街路灯の整備をする考えはないか。

町長 1月末まで町内全域でLED防犯灯に更新したときには、周辺町内会等からは、この道路への防犯灯設置の意見、要望等はなかった。防犯灯整備は現在のところ予定していないが、新学期開始後、通学者の夜間通行量等を確認し、状況の把握に努めたい。

榑山 車道除雪だけではなく、通学路を確保できるように除雪できないか。

町長 安全に通学するために、歩道除雪がされている国道などの歩道を利用してほしい。

この道路の一部区間の歩道は未整備のため、歩道除雪までは至っていない状況だが、幅出しを考えた除雪を考えたい。

あなたの支援が必要です

ヘルプカード



青森県

ヘルプカードとは

障がいなどのある人が困った時に、周囲の方に配慮や手助けをお願いしやすくするための情報を伝えるためのものです。「手助けが必要な人」と「手助けできる人」を結びカードです。

「ヘルプカード」の提示がありましたら、記載されている内容にそって支援をお願いします。

台風・長雨で苦しんでいる農家への助成を

農林水産課長「春以降の長芋の収穫状況により判断したい。」



田中 正一 議員



昭和28年の百石大火。154戸が焼失。

**糸魚川市大火発生
現在の町の防火体制は**

田中 昨年末、新潟県糸魚川市では火災により大変な被害を受けた。旧百石町でも過去に3回の大火が発生している。

現在の消火栓及び防火水槽のそれぞれの設置状況と充足率は。

町長 現在、町内全域に349基の消火栓と消水利の基準を満たす防火水槽98基が設置。

町に求められる水利施設設置基準数は496基とされているが、現在、消火栓と防火水槽を合わせ、447基が設置され

ているので、その充足率は90・1%である。

田中 消防団員の火災災害に対する防火服の充足率は。

町長 総務省消防庁で定めている「消防団の装備の基準」により、町消防団全体として166着の防火衣を配備する必要がある。

この基準に基づいて、必要数を各分団に配備し、充足率は満たしている。

田中 糸魚川市の火災では、消防団員が煙を吸って具合が悪くなったとの報道がある。

町消防団へ酸素マスク等を整備する考えは。

まちづくり防災課長 消防団員の安全は非常に重要。今後、消防団の意向を確認し、整備を検討したい。

昨夏の台風・長雨等の農作物被害は

田中 種子や資材購入代金の助成はどうかしているのか。

町長 平成28年11月の国の緊急支援事業により、次期作に必要な資材等の共同調達支援が公募され、町と十和田おいらせ農協が共同で被災農家に対する事業説明会を開催した。共同調達事業という内容から、農協と町が事業申請に向けた協力体制をとり、平成29年1月に事業申請したところである。

田中 災害支援資金への利子補給はどうかしているのか。

町長 十和田おいらせ農協が災害支援資金として無利子融資を実施したと聞いているが、その後町内農家からの相談を受けていないので、利子補給に対する対応は行っていない。

今後、補てん等に対する支援等の相談があれば、内容を検討し対応したい。

田中 家畜飼料購入への助成はどうかしているのか。

町長 町の家畜農家からは、自家用飼料の農作物被害等の相談を受けていないため、現在のところ対応は検討していない。

田中 農業収入保険制度の早期実現要請はどうかしているのか。

町長 農業収入保険制度については、平成29年1月、国の農林水産業・地域の活力創造本部において、対象農業者等の内容を決定し、平成29年通常国会に法案を提出し、平成30年秋からの加入申

請を目指していると聞いている。

当町でも、多くの農家が制度当初から加入できるように事前に公表されている内容について周知している。

トラクターが入れない地区の水田基盤整備を

田中 小前谷地、三九郎、丈ノ端の基盤整備を行う考えはないか。

町長 以前、奥入瀬川南岸土地改良区で、関係者から意向を確認したところ、受益者負担等が発生することから反対意見が多く、事業への取り組みを断念したと聞いている。

田中 米は限界。大豆・麦等作付けできる基盤整備が必要。

農林水産課長 農家の収益性向上、規模拡大には基盤整備は有効と考えるが、農家の負担が発生するため難しい。



西館 芳信 議員

公共施設へWi-Fi環境整備を

町長「時代のニーズに応じて

総合的に検討していく」

我が町へのふるさと納税をした
説明会開催の考えは

西館 ふるさと納税の仕組みと当町の受け入れ現状は。

町長 ふるさと納税は税法上の制度としては税金の寄付金の控除で、自分で選んだ自治体に寄付を行った場合に寄付額のうち2千円を超える部分に上限はあるが、所得税と住民税から原則として全額が控除される制度である。

当町の受け入れ状況は表のとおりとなっている。

ふるさと納税受入状況

年度	件数	金額
20	45件	約221万円
21	23件	約169万円
22	21件	約131万円
23	16件	約138万円
24	12件	70万円
25	14件	約45万円
26	83件	約115万円
27	1,127件	約1,242万円

近隣町村の27年度の実績は野辺地町48件、58

7万2千円、七戸町28件143万円、六戸町9件53万円、横浜町10件、68万5千円、東北町13件、281万円、六ヶ所村が0件となっている。

西館 返礼品はどう決められるのか。

町長 町の宣伝を兼ねて、当町の特産品を「おいらせブランド推進協議会」などの関係者と協議しながら黒ニンニク、だるま芋などの農産物や地元スイーツ、銘菓セット、伝統工芸であるさきおり、メロン、ホッキ貝など18品を選定している。

西館 集まった寄付金総額から返礼品、ポータルサイトなどの手数料を差し引くと町に残る額はいくらになるか。

企画財政課長 例えば27年度は、収入の部分は1241万5千円で、支出の部分は返礼品、インターネットの使用料などを合わせると約570万円となっている。

西館 ふるさと納税は町の財政にとってプラスなのか、マイナスなのか。

町長 寄付金は年々増加傾向にあり、それに伴い、返礼品にかかる費用や他の自治体へのふるさと納税による税収財源の流出などがあるが、差し引いても、寄附受入額が上回っている。

また、町特産品の消費拡大や町の活性化にも寄与すると考えている。

西館 どうせ納税するならば自分の町へしたいが、仕組みがわからないという町民のために「ふるさと納税」の説明会を開催することは可能か。

町長 町への寄付を行うかどうかは、町が勧めるものではなく、個人の判断によるものと思う。

グローバル、IT時代に向けた環境を

西館 世はまさにグローバル、IT時代。

このような質問が議会に出ること自体が時代遅れと思うが、次代の子どものための総合教育的見地から、また、町民生活の質的向上のためWi-Fi（ワイファイ）を設置する考えはないか。

説明会という形で周知方法は考えていない。

町長 現在、当町の公共施設においては、Wi-Fiを整備しているところはない。

時代のニーズに応じた対応が必要な部分もあるが、デメリット部分や懸案事項もある。

整備を進めるに当たっては、観光、住民向けサービス向上、防災など、どの目的のもとに取り組んでいくかが重要なので、メリット点、デメリット点を押さえ、総合的な観点から検討していきたい。

企画財政課長 国において、来年度から3年間で公共施設や避難所に災害対応Wi-Fiを整備していく計画がある。当町でも国庫補助事業の動向を見ながら整備していく方向で考えていきたい。



Wi-Fiマークの例

※Wi-Fi（ワイファイ）とは無線LANの規格のひとつ。

選挙公報発行を協議

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会（吉村敏文委員長）では、3月21日（火）に所管事務調査を行い、担当課から説明を受けました。



選挙公報は投票率向上につながるか（成人式での模擬投票の様子）

選挙公報は時期尚早、効果に疑問との声

選挙公報は、選挙の際に立候補したすべての候補者や政党の政見を記載した文書で、全世帯に配布されます。

選挙管理委員会では、投票率向上につながるための啓発活動として、町議会選挙・町長選挙に関し、有権者が候補者の政見を比較するには選挙公報の配布が有効と考えられるとし、周辺の選挙公

フェイスブックにも選挙公報を掲載して、若者に候補者の情報を届けたい。

問 フェイスブックに情報を掲載しても、投票しない。金をかけて作るが、費用対効果に疑問。

答 何もなければ見ることはできないので、作成させていたが、

問 おいらせ町の選挙公報という独自色が見えない。

答 はじめに公職選挙法に準じて条例を制定し、その後、徐々に个性的な部分を反映させていきたい。

問 今回の委員会には、委員長をはじめ前回意見を述べた委員が出席していない。そういう場で説明されても承服できない。

答 資料は事前に送付しており、欠席委員からの意見は何もきていない。後日改めて委員会を開催してもらい、説明したい。

※フェイスブックとは

全世界で十数億人の利用者がいるソーシャル・ネットワーキング・サービスのこと。

議会構成の変更

◆議会運営委員会

委員長の互選

議会運営委員会では、松林義光委員を新たに議会運営委員会委員長として互選しました。

前委員長の佐々木光雄委員が一身上の都合により委員長を辞任したことによるものです。

提言書を受理

3月13日（月）、自治推進委員会（福原仁一委員長）から馬場議長へ提言書が提出されました。

自治基本条例の運用状況の検証作業を行っている同委員会が、よりよい議会となるための意見、アイデア等を提供したいという委員の希望から提言書提出の運びとなったものです。

今後、議会では提言書の取り扱いについて、協議していくことになりました。

都市計画マスタープラン案を協議

都市計画見直し調査特別委員会

都市計画見直し調査特別委員会（西館芳信委員長）では、1月19日（木）と3月23日（木）に、都市計画の見直しに関する調査のため、担当課から説明を受けました。

◆第1回委員会

都市計画見直しの方向性について、説明を受けました。

◆第2回委員会

地域づくり懇談会、都市計画マスタープラン案等について説明をうけ

ました。

5月にはマスタープラン案を公表し、パブリックコメントを実施する予定です。



三村町長の立ち会いのもと、福原委員長から馬場議長へ提言書が提出されました。

平成29年度の町道整備は 9路線・1億6500万円を予定

産業民生常任委員会

産業民生常任委員会（榎山忠委員長）では、平成29年1月24日（火）に付託された陳情書の審査と所管事務の調査を実施しました。また、3月24日（金）には平成29年度町生活関連道整備基本計画等について、地域整備課から説明を受けました。



若葉地区にある古間木山汚水処理場

保健課の説明をもとに審査しました。

陳情は、小川原湖の水質環境に支障が生じているため、環境改善への取り組みをお願いしたいという趣旨です。

小川原湖には若葉地区の古間木山汚水処理場の処理水も流入していることから、趣旨に賛同するため陳情を採択すべきとして、本会議に報告しました。

【結果】

3月9日（木）の本会議において、全会一致で採択と決定。

町工場誘致奨励制度の見直しについて

町への企業誘致推進の

ため、工場誘致奨励制度を見直すことについて、商工観光課長から説明を受けました。

委員からは「他市町村と同じ条件とせずにもっと大胆な見直しを」という意見が出ました。

◆第2回委員会

平成29年度生活関連道整備基本計画について

全体概算工事費148億円が見込まれる中、29年度に予定している町道整備箇所9路線について説明を受けました。

国及び県管理施設整備要望について

国・県が管理する道路や河川施設に対し、町が

要望している整備内容について説明を受けました。

町私道整備要綱の見直しについて

住民と行政が相互に私道整備の問題解決を進められるように、これまで活用実績のなかった要綱を見直すことについて説明を受けました。

町営住宅入居者決定方法の見直しについて

町営住宅に毎回申し込みしているにも関わらず、落選している申込者のために当選倍率優遇措置を導入することについて説明を受けました。

公共下水道事業等経営戦略の策定について

全国的な下水道事業財政の悪化と人口減少時代を迎え、下水道事業維持を図るため、国の要請により策定した公共下水道事業と農業集落排水事業の「経営戦略」について説明を受けました。

平成29年度 生活関連道整備計画選定路線

(1) 町道整備事業（町単独事業）

【工事】（予定額5,000万円）

No.	種別	町内会名	路線名	延長	工事内容
町道整備					予定額 2,640万円
1	継続	鶉久保	鶉久保地区15号支線	50m	舗装
2	継続	一川目	一川目1号線	50m	側溝、歩道
3	継続	住吉	住吉町・三沢線	50m	舗装、側溝
4	継続	緑ヶ丘	緑ヶ丘20号線	184m	舗装
交通安全対策					予定額 2,360万円
5	新規	百石小	百石通学路線	158m	側溝、路肩改良
6	新規	下田小	阿光坊線	330m	カラー舗装
7	新規	木内々小	木内々・本町線	100m	カラー舗装

※No.1、4は平成29年度中に完了する見込みです。

(2) 町道整備事業（国補助事業）

【工事】（予定額1億1,550万円）

No.	種別	町内会名	路線名	延長	工事内容
8	継続	—	木内々・本町線外	200m	舗装、側溝
9	新規	—	下前田2号線	400m	舗装、側溝

※国からの補助金を財源として工事を実施します。No.8は平成29年度中に完了する見込みです。

第2回定例会のお知らせ

平成29年6月1日(木)午前10時から
 おいらせ町議会では、みなさんの傍聴をお待ち
 しています。傍聴をご希望の方は、議会開催日に、
 本庁舎3階の議会事務局までお越しください。

- 問い合わせ 議会事務局(本庁舎3階)
- 電話 0178(56)2112

傍聴席の声

3月議会は、21名の方が傍聴し、アンケート2通が寄せられましたので、ご紹介します。これからもご意見をお寄せください。

- 傍聴席に質問者の声がハッキリ届かず、町長さんの答えのほうがかきこえました。質問者の声もハッキリ聞こえる方がよいと思いました。
- □席の議員は言葉をハッキリして後ろにも聞こえてよかった。みんな議員さんも口を大きく開けて選挙の時のように元気にしてほしい。



表紙写真をお寄せください

あなたの作品を「ぎかいだより懸橋」に掲載しませんか。表紙の写真を募集中です。おいらせ町の「自然」「伝統行事」「イベント」など、おいらせ町の魅力あふれる写真をお待ちしています。

詳細は、議会ホームページの確認または、議会事務局までお問い合わせください。

- 送付先 おいらせ町議会事務局
 「議会広報写真」係
- TEL 0178-56-2111(代表)
- FAX 0178-56-4364
- Mail gikai@town.oirase.aomori.jp

平成28年度おいらせ町議会議長の 交際費を公表します

種別	件名	金額(円)
会費	「穂の泉」新酒完成披露会	3,000
会費	おいらせ町連合PTA総会・懇親会	2,000
贈答	町総務文教常任委員会調査活動のお礼(2力所)	2,840
会費	上北郡町村議会議長会定例会・懇親会(第1回)	3,000
会費	シルバー人材センター創立20周年記念式典	5,000
贈答	町議会議会運営委員会調査活動時のお礼	2,235
会費	三沢地区連合防犯協会定時総会	4,000
会費	おいらせ地域岩手県人会総会	1,500
会費	八戸市おいらせ会総会	5,000
会費	上北郡町村議会議長会定例会・懇親会(第2回)	3,000
会費	キタリー町海外交流団歓迎会	3,000
会費	キタリー町海外交流団送別会	2,500
会費	全国将棋祭り棋士を囲む歓迎レセプション	4,000
会費	キッチンいちょうの森プレオープン	800
会費	中核市移行記念シンポジウム昼食会・懇親会	4,000
協賛	おいらせ下田まつり祭ばやし競演会	10,000
贈答	町総務文教常任委員会調査活動のお礼(2力所)	4,600
会費	上北郡町村議会議長会定例会・懇親会(第3回)	4,000
会費	おいらせ下田まつり慰労会	2,000
贈答	町議会議会運営委員会調査活動時のお礼	2,200
会費	下田町朝野球協会30周年記念式典	3,000
弔慰	元百石町議会議員葬儀(生花・香典)	25,000
会費	おいらせ町消防団活動報告会	5,000
会費	新年を祝う会	3,000
祝儀	おいらせ町消防団出初式(19分団)	44,460
会費	連合婦人会 祝賀会・新年会	3,000
会費	上北郡町村議会議長会定例会・懇親会(第4回)	3,000
弔慰	元下田町議会議員葬儀(生花・香典)	25,000
弔慰	元百石町議会議員葬儀(生花・香典)	25,000
会費	町消防団分団発足100周年記念式典・祝賀会	5,000
会費	町消防団消防ポンプ自動車配置記念祝賀会	5,000
	31件	215,135



広報委員 高坂隆雄

相田みつを作品に「自分の番 命のバトン」というのがあります。

父と母で2人、父と母の両親で4人、そのまた両親で8人、こうして数えていくと10代前で1024人。20代前では？

なんと100万人を超すんです。

過去無量のいのちのバトンを受け継いで、いまここに自分の番を生きている。それがあなたのいのちです。それがわたしのいのちです。

いじめや自殺、交通事故等、考えさせられますね…。

編集後記